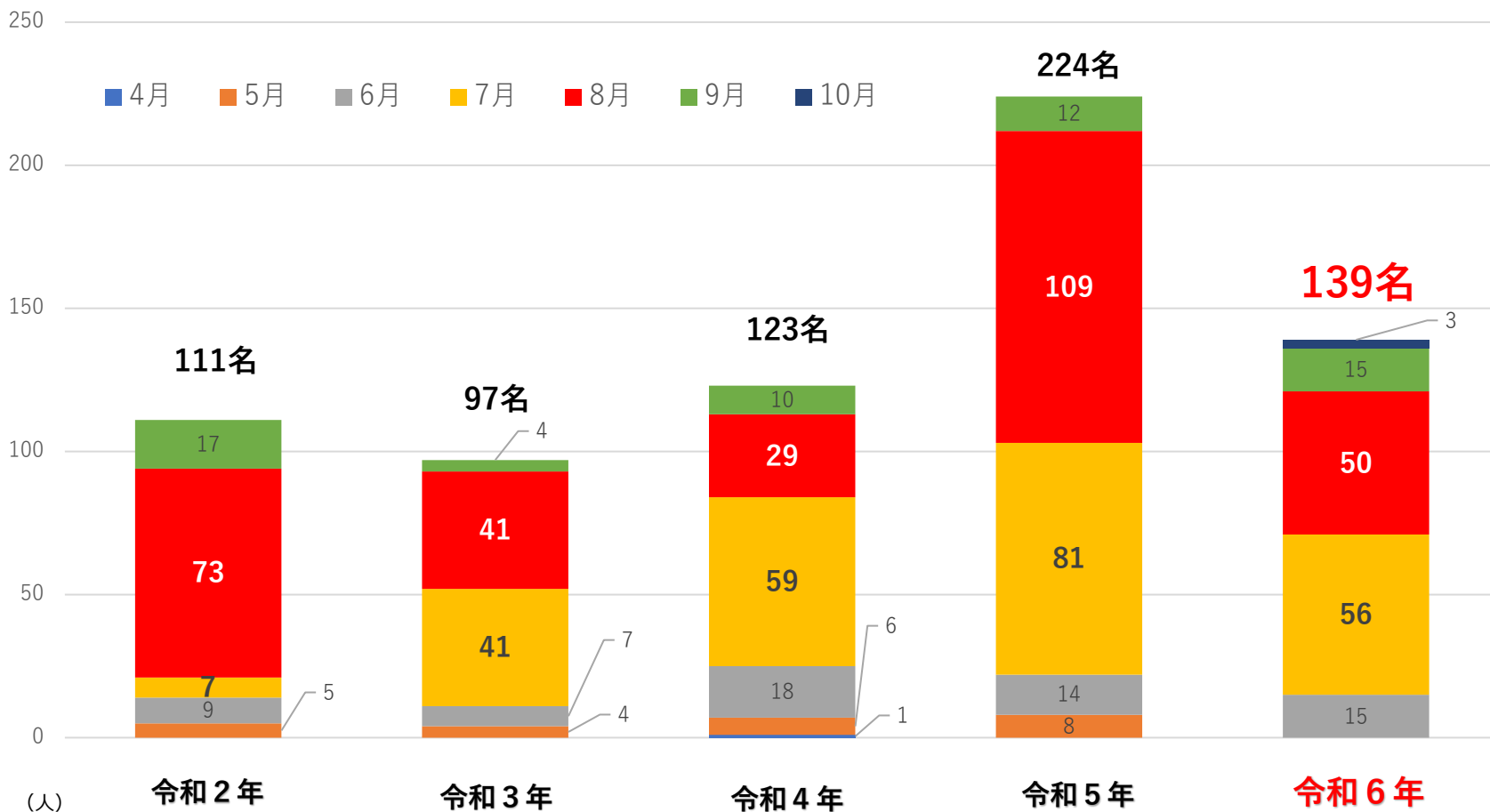


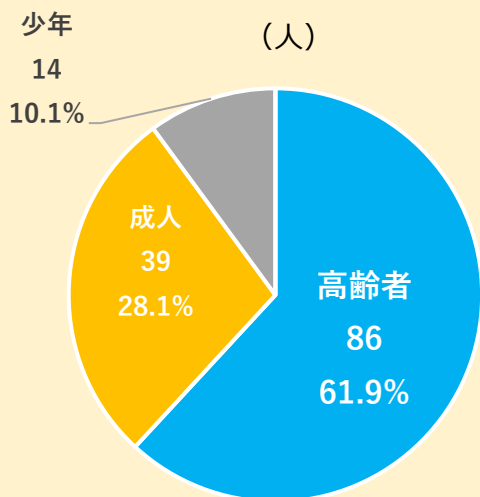
大崎管内における熱中症搬送状況について

過去5年 熱中症による救急搬送状況



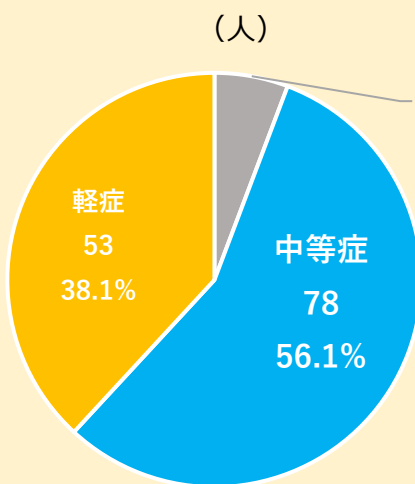
熱中症による救急搬送人員（139名）の内訳

年齢区分別（構成比）



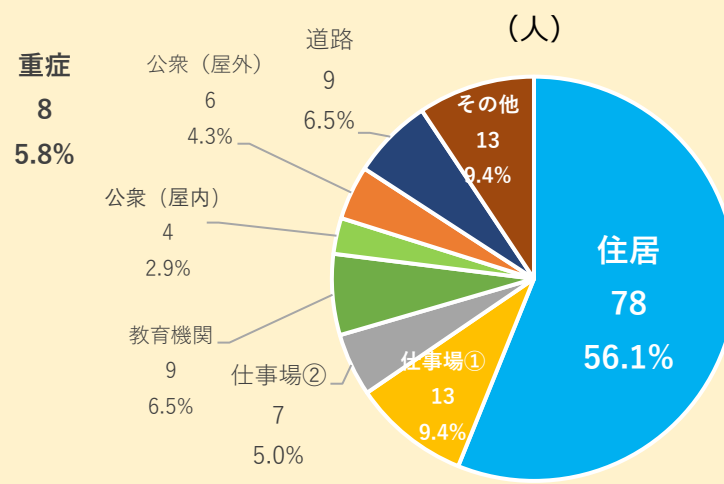
乳幼児：生後28日以上満7歳未満
 少年：満7歳以上満18歳未満
 成人：満18歳以上満65歳未満
 高齢者：満65歳以上

初診時における傷病程度別（構成比）



軽症：入院加療を要しない程度（外来診療）
 中等症：重症又は軽症以外の程度（入院加療）
 重症：3週間以上の入院加療を必要とする程度

発生場所別（構成比）



住居：(敷地内全ての場所を含む)
 仕事場①：(道路工事現場、工場、作業所等)
 仕事場②：(田畑、森林、海、川等)
 教育機関：(幼稚園、保育園、小学校、中学校、高等学校、専門学校、大学等)
 公衆(屋内)：不特定者が出入りする場所の屋内部分
 公衆(屋外)：不特定者が出入りする場所の屋外部分
 道路：(一般道路、歩道、有料道路、高速道路等)
 その他：(上記に該当しない項目)

- ・大崎管内の熱中症による救急搬送人員の年齢区分別では、約6割を高齢者が占めています。また、傷病程度別では、中等症が最も多く78名（56.1%）、次いで軽症の53名（38.1%）となっております。
- ・発生場所別では、住居（敷地内すべての場所を含む）が半数以上を占めています。